

◆ 今週のコメント

- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.34で、過去5年平均値をやや上回り、今週は本年度で最も多くなっています。年齢階級別にみると、1歳が最も多く、1歳～2歳で50.0%を占めています。夏に流行する感染症としてご注意ください。
- ・手足口病の定点当たり報告数は0.61で、過去5年平均値(1.32)を下回っているものの、今週と第27週は、本年度で最も多くなっており、全国でも報告数は増加しています。年齢階級別にみると、1歳が最も多く、1歳～2歳で56.0%を占めています。夏に流行する感染症としてご注意ください。
- ・アメーバ赤痢の先週追加分の報告が1例あります。本年の累積報告数は12例で、病型別にみると、腸管アメーバ症10例(女2例, 男8例), 腸管外アメーバ症2例(男)です。年齢は24歳～72歳で、そのうち40歳以上が10例です。また、推定感染経路は、経口4例, 不明7例, 性行為感染1例です。

◆ 今週のトピックス:〈ヘルパンギーナ〉

- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3.80で、第27週以降、過去5年平均値を大きく上回る状態が継続しています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・今週の麻しん全数発生報告は3例です。5月25日から始まった市内全医療機関からの麻しん発生件数(成人麻しんを含む。)については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 11例(肺結核 10例, その他 1例)(第28・29週追加分含む)
- ・五類:アメーバ赤痢(腸管外アメーバ症) 1例(第29週追加分)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① ヘルパンギーナ	3.80	156
	② 感染性胃腸炎	3.20	131
	③ 手足口病	0.61	25
	④ 突発性発しん	0.44	18
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	17
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

病原体情報

ありません。

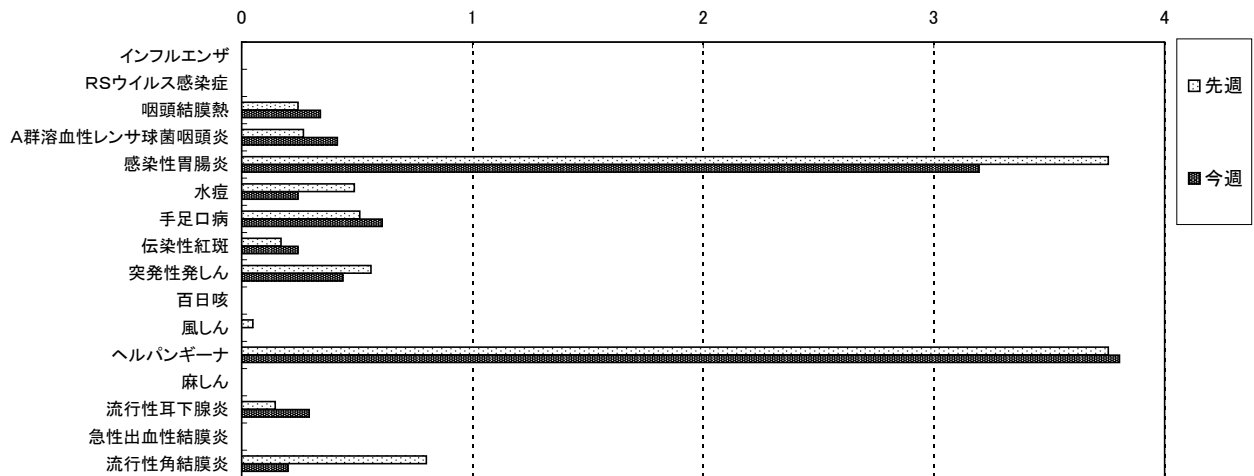
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈ヘルパンギーナ〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

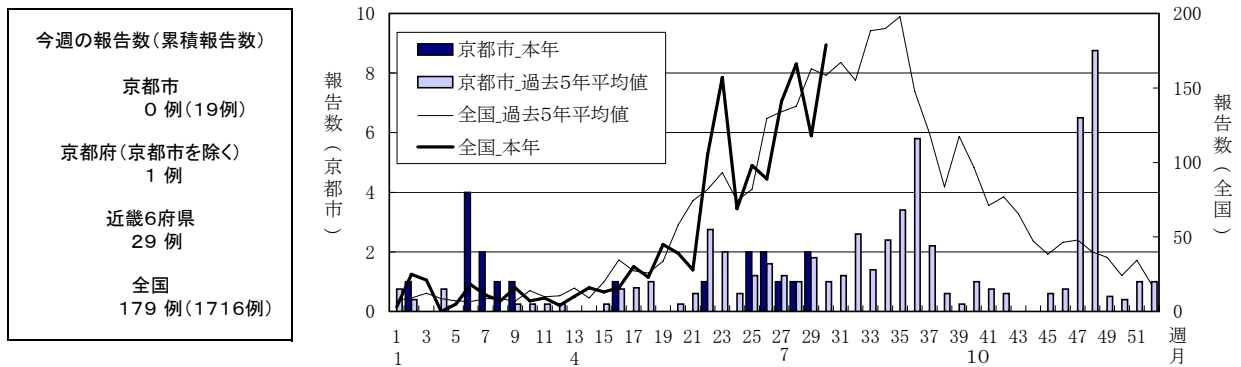
(注)京都市のデータは:平成19年8月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第30週)と先週(第29週)の定点当たり報告数の比較

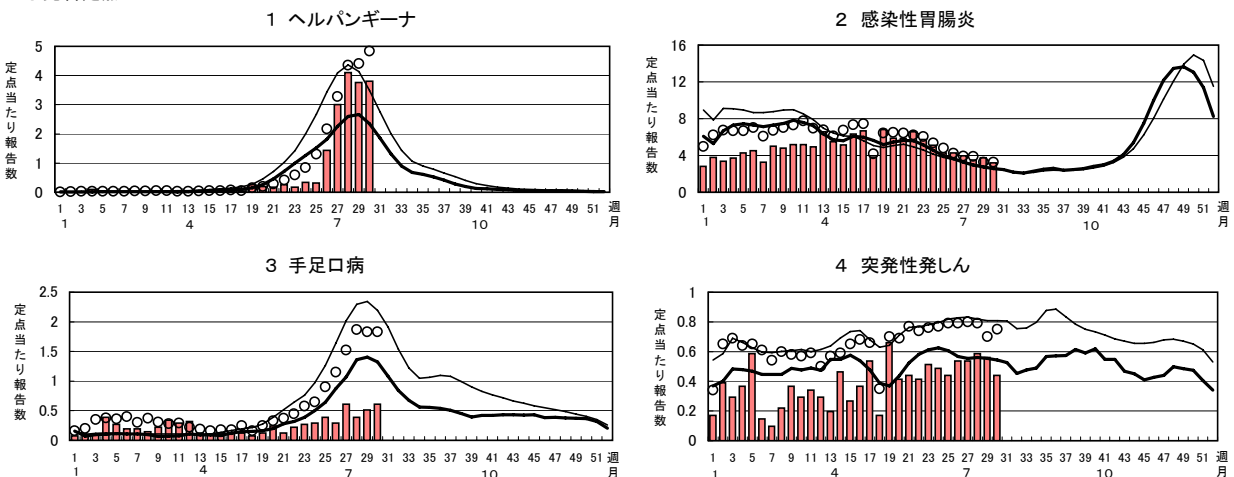


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

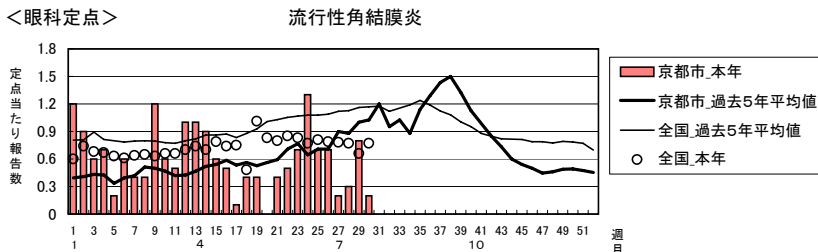


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第30週)のトピックス:〈ヘルパンギーナ〉

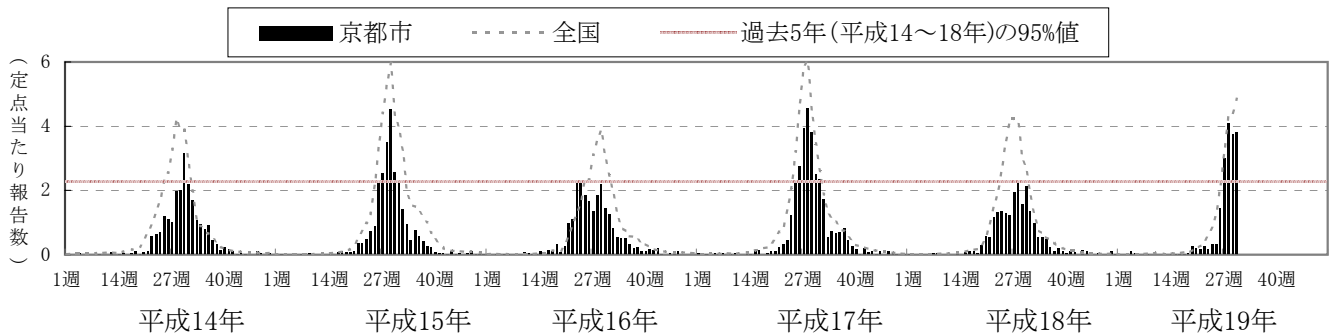
今週の定点当たり報告数は3.80で、過去5年の推移から、本年のピーク時期を迎えていることが推測されたため、過去5年間の95%値(累積百分率)と比較してみますと、第27週以降、大きく上回る状態が継続しています。また、全国では、本年度で最も多い値(4.84)となっています。

第28週～30週をみると、過去5年の95%値を超える行政区数は、11行政区中、6～8あり、週によって各行政区の報告数は、ばらついています。年齢階級別割合は、1歳が最も多く、5歳以下で80%以上となっています。

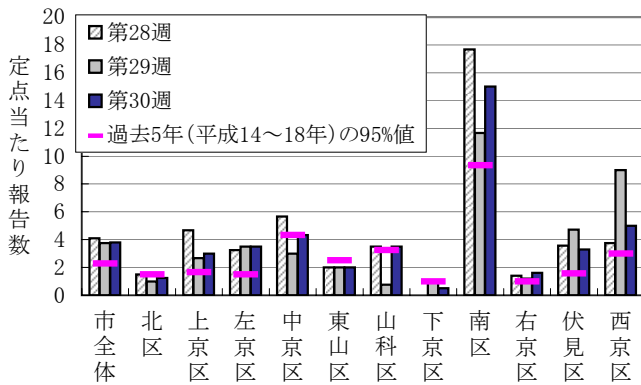
5週前の第25週と、今週(第30週)の定点当たり報告数を都道府県別にみると、第25週では、福井県を除き、中国・九州地方に報告が偏っていたのに対し、今週はその他の地域の増加が著しく、中国・九州地方の報告は増減しています。

今後も、多い状態が続く可能性もありますので、動向にご注意ください。

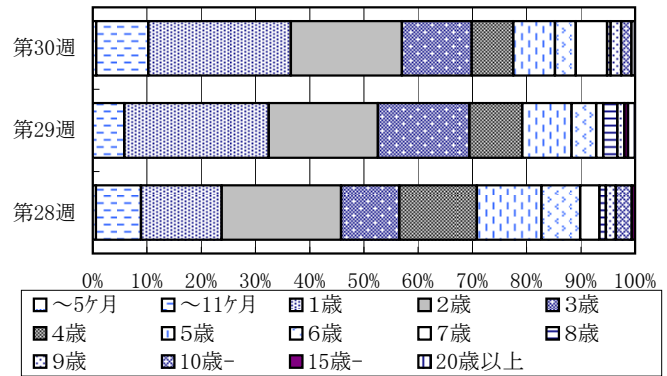
定点当たり報告数の週別推移



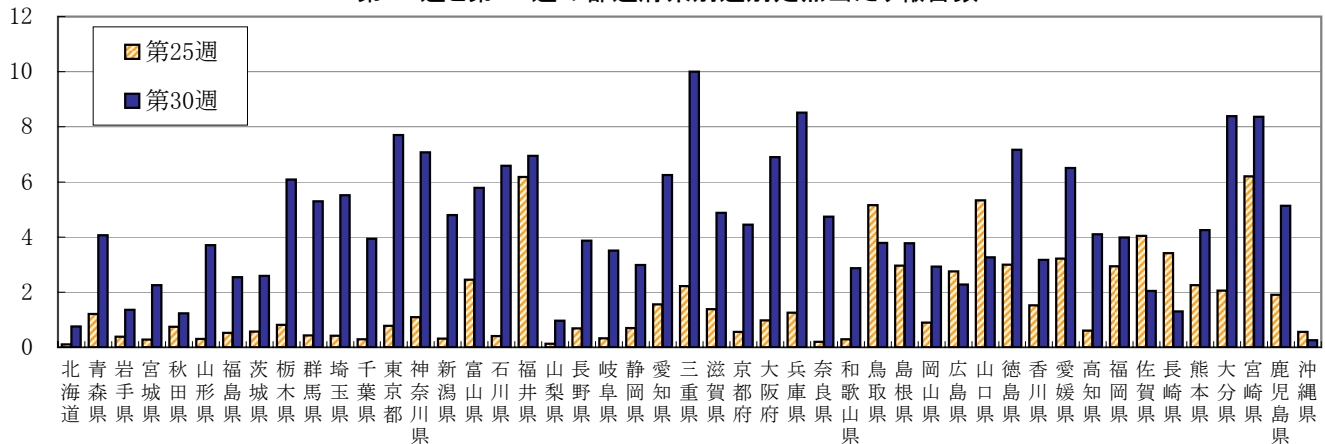
行政区別週別定点当たり報告数



年齢階級別定点当たり報告数



第25週と第30週の都道府県別週別定点当たり報告数



京都市麻しん全数発生報告

京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から8月5日までの報告を初診週別に集計しています。

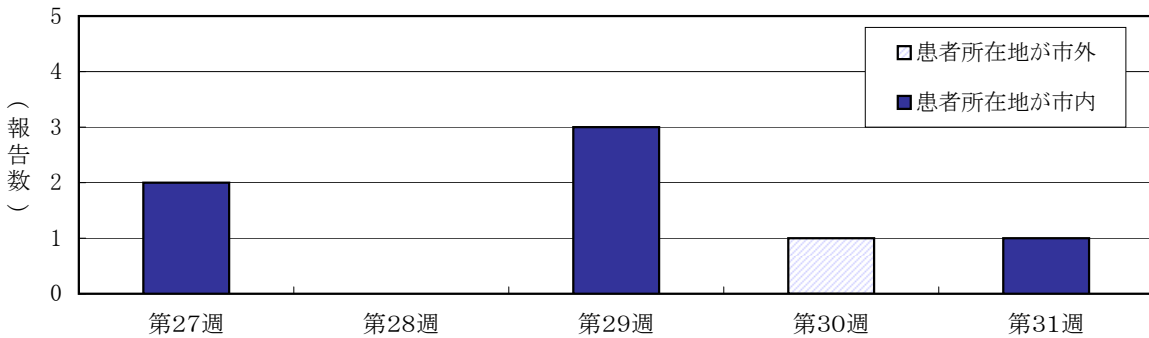
なお、初診週が第27週の既報告分2例は、定点医療機関からの報告例です。

1 推移

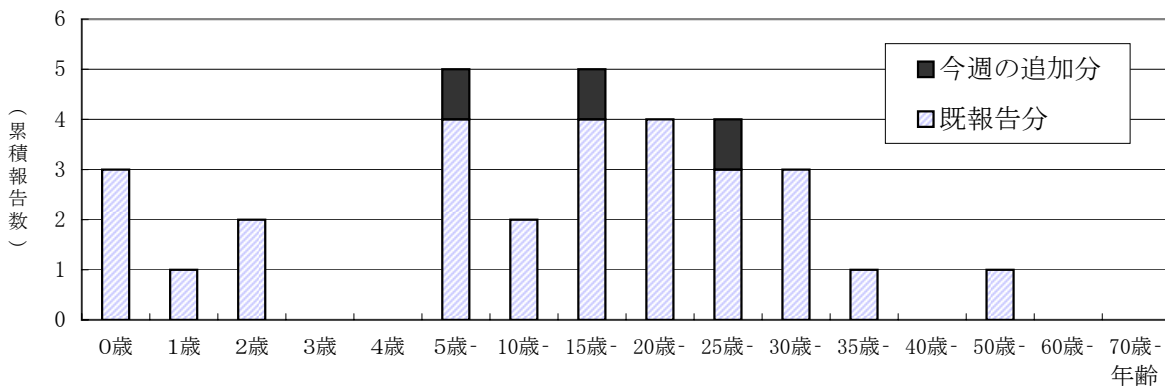
初診週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	累積報告数 (第17週以降)
今週の追加分	-	-	1	1	1	3
既報告分	2	-	2	-	-	28
合計	2	-	3	1	1	31

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (最新5週分)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月~11ヶ月	3歳	10~14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第30週

疾病,保健所別報告数

平成19年7月23日～平成19年7月29日

データ入手日:平成19年8月6日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	1	-	1	1	-	-	1	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	1	14	-	1	2	3	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	11	1	1	3	-	-	-	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	10	1	-	1	1	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	2	7	-	5	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	1	7	14	1	3	-	1	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	17	-	5	2	4	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	10	5	26	4	5	2	4	-	-	23	-	3	-	1	-	-	-	-	-
西京	-	-	2	-	29	1	4	-	3	-	-	20	-	5	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	14	17	131	10	25	10	18	-	-	156	-	12	-	2	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	0.33	-	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.25	3.50	-	0.25	0.50	0.75	-	-	3.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	3.67	0.33	0.33	1.00	-	-	-	4.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5.00	0.50	-	0.50	0.50	-	-	2.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.50	1.75	-	1.25	-	-	-	-	3.50	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	1.00	-	-	0.50	-	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	0.33	2.33	4.67	0.33	1.00	-	0.33	-	-	15.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	3.40	-	1.00	0.40	0.80	-	-	1.60	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	1.43	0.71	3.71	0.57	0.71	0.29	0.57	-	-	3.29	-	0.43	-	0.50	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.50	-	7.25	0.25	1.00	-	0.75	-	-	5.00	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.34	0.41	3.20	0.24	0.61	0.24	0.44	-	-	3.80	-	0.29	-	0.20	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第30週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年8月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	1	-	-
咽頭結膜熱	9	11	10	9	10	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	21	34	18	11	17
感染性胃腸炎	176	175	162	144	154	131
水痘	50	46	36	36	20	10
手足口病	16	12	25	16	21	25
伝染性紅斑	12	6	8	13	7	10
突発性発しん	18	22	22	24	23	18
百日咳	1	2	-	-	-	-
風しん	1	-	-	1	2	-
ヘルパンギーナ	13	59	123	168	154	156
麻しん (※)	-	-	2	-	-	-
流行性耳下腺炎	14	9	16	17	6	12
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	7	2	3	8	2
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	344	370	442	450	416	395

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	0.02	-	-
咽頭結膜熱	0.22	0.27	0.24	0.22	0.24	0.34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0.51	0.83	0.44	0.27	0.41
感染性胃腸炎	4.29	4.27	3.95	3.51	3.76	3.20
水痘	1.22	1.12	0.88	0.88	0.49	0.24
手足口病	0.39	0.29	0.61	0.39	0.51	0.61
伝染性紅斑	0.29	0.15	0.20	0.32	0.17	0.24
突発性発しん	0.44	0.54	0.54	0.59	0.56	0.44
百日咳	0.02	0.05	-	-	-	-
風しん	0.02	-	-	0.02	0.05	-
ヘルパンギーナ	0.32	1.44	3.00	4.10	3.76	3.80
麻しん (※)	-	-	0.05	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.34	0.22	0.39	0.41	0.15	0.29
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.70	0.20	0.30	0.80	0.20
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	8.92	9.55	11.90	11.20	10.75	9.79

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。